

令和 4 年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティー専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験 100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2

- 本校の目的は、アリアーレビューティー専門学校学則および学校法人 愛知理容学園寄付行為に「教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法、美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的とする。」と明確に定めている。
- 上記の目的に沿って、教育理念・教育方針（建学の精神）は、次のように明確に定めている。
 1. 私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます。
 2. 私達は常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます。
 3. 私達は和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません。

- 具体的な養成しようとする人物像は、理容科では、
 1. 一生涯理容師として活躍できるよう技術だけでなく強い意思
 2. 如何なる仕事でも工夫して良い仕事にしていく気持ち・考え方
 3. 常に向上心を持つこと
 美容科では、
 1. 多くのお客様に支えられる美容師としての人格形成
 2. 生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
 3. 国家試験を全員取得し、サロンの即戦力となる力をつける
 と定めている。
- 毎日朝礼でスローガン「全学一体 一致団結」及び「三者一体 物事を判断するときに、学生・学校・職員の三者にとって良い事かを考える。」を唱和している。
- 毎年の学校教育目標がない。学校目標が学科及びクラス目標になり、教職員の目標・行動計画にもつながっていくので、ぜひ、令和4年度は学校目標を立て、中期計画につなげていく。

(2) 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	2
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	3
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- 人事評価制度が始まり 1 年が経つが、評価結果が個々の給与体系に反映されているのか、よくわからない。
- 日本で最も人気のあるサロン AFLOAT グループの最高責任者である「宮村浩気」先生が学長を務め、全国に 15 校開校している「アフロート美容専門学園」さまと業務提携を交わす。通信生を中心とした学生募集強化と授業内容の充実を一層図っていく体制を整える。(22 期 10 月通信美容科で入学あり。)

- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・F Bを活用して情報公開をしている。また年 2 回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。（前年同様）インスタグラムに関しては週 2 回発信。
- 学校運営者には、もっと学生や教職員、ステークホルダーの未来を見据えた人選が必要なのではないか。人材の多様化をいかに競争力へと高めていくか。似た者同士の議論では強化にならない。
- 教職員ベースの学科目標・クラス目標はあるが、学校自体の年度ごとの教育目標がないので、一体感に欠ける。（令和 5 年度は学校自体の目標ができた。）
- 令和 4 年度高校 2 年生が受験する大学入試から志願者が定員を下回る全入時代。単独で学校運営をしていくことに危機感がある。
- 就業規則や学則を学生・学校（教職員・役員）とも守る。教職員の労働意欲や満足度、教職員同士の人間関係や仲間意識が衰退する。このレベルが担保されないと、どんな政策も意味はない。
- 組織の風土や教職員の意識を代えたい。

（３）教育活動

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2

関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

● （理容科）令和4年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、

- ・理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者
- ・細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者
- ・様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者とする。

（振り返って）今年度の理容科の2年生は6名ということもあり、いろいろな事に興味を持つ、発見力をつける、という事の周知はある程度できたと思う。次のステージとして、発見したことをいかに改善するか、いかに指導していけるのか？という部分に力を入れていきたい。授業の内容に関しては、より実践的に、より実用的な授業を行い、卒業後にも役に立ちそうな授業内容を考えていく。

● （美容科）令和4年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像は、

- ・自己と向き合い、他者を認めて高め合う仲間づくり
- ・自らの課題を克服していく強い意思
- ・幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培うとする。

（振り返って）基本的な教育カリキュラムは同じだが、各項目の時間数に変化をつけ、力を入れる分野をわかりやすくした。具体的にはメイクとヘアカラーに特化した時間配分となる。個々の資格取得、スキルアップは公開授業を中心に学んでもらう。また仲間意識や助け合い精神もイベント・オープンキャンパス・ヘアショーを通じて、より深く体験させたい。

● （トータル科）令和4年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、

- ・ヘアメイク、ネイル、エステに関するトータルの知識・技術を身に付け海外中心に理美容業界で活躍できる人財
- ・技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人財
- ・「喜ばれる喜び」を持って、自利利他の精神で社会貢献できる人財

（振り返って）1期生が令和5年3月卒業。留学生専用クラスとして発足し、退学者も数名発生したが、卒業生は全員出席率が90%を超え、教育現場としての使命は最低限達成できたと思います。年度中、教員・生徒間のコミュニケーションの欠如から相互信頼が一時的に不安定な時期もあったが、卒業生からの紹介で令和5年度入学生も確保。在学中の満足度の一部の証として、前向きにとらえていきたい。

- 「学びたいと思える」授業、教えてもらうのが当たり前・やらされてる・仕方なしにやっている感から自分で自分をつくる主体性を育むことを次年度のテーマにしたい。
- 学校教育とサロン教育のギャップを埋めるために企業連携をしている。
- 外国人留学生が安心して学べる学校環境を構築することを目的に日本語学校（セントラルジャパン日本語学校さま）の見学を行う。授業の工夫、生徒管理、学習内容等 4 日間にわたりご協力いただく。
- 名古屋美容協議会主催の在宅高齢者訪問 理美容サービス事業講習会がアリアーレで開催され、在校生も参加。新たに愛知県福祉理美容技能評価認定制度として県知事評価制度になる。在校生にとっては、資格取得の幅が広がる。（令和 3 年度同様、アリアーレが資格試験会場になる。）
- 教職員研修を単なる指導資格としか捉えていない。専修学校教員として求められるスキル・心構えや教職員間の技術的統一が今ひとつできていない。
- 教職員研修に、公開授業を利用したらどうか。

（４）学修成果

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 昼間課程においては理容科が 5 年連続 国家試験全員合格（100%）、また通信課程では美容科が第 46 回（夏）国家試験で受験者数・合格者数・合格率すべてが中部地区 NO. 1 の結果を残すことができた。
- 学校外でヘアショーを開催。無観客開催となったが、外部業者との打ち合わせ、遠征する難しさを学ぶ。
- 留学生に関しては、在籍管理・出欠管理、授業進行の見直しを引き続き一層努力する。
- 就職支援は転職支援、キャリア形成（公開授業）、能力開発（公開授業）を含めて考えていきたい。学生個人ごとにライフプランも考えたい。
- 資格取得に関しては、在校生だけでなく、一般市民へのリカレント教育（カルチャースクールのような）の一助になるよう、「公開授業」として募集を実施。令和 5 年以降も続けていく。

(5) 学生支援

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

- 名古屋ユマニテク調理製菓専門学校 高等課程の2年生(理美容師、エステティシャン、デザイナー等になりたい生徒。前期約30名、後期約30名の合計60名。)に対して、令和4年4月より毎週水曜日(毎回2時間。1年間。授業日数24日間。)授業を受け持つことになる。ネイルやメイクなどのトータルビューティーも含め、人々の生活を美の側面から創造できる授業を展開。令和5年度においても依頼を受け実施している。
- 留学生の就職に関しては、外国人雇用協議会等を通じて就職先を探す傾向が見られた。就職を希望する者は採用決定の段階、就職するための書面等が整った段階で学校を中退していく者もいました。学費の節約と早く稼ぎたいの両面だと思うが、企業側にも、卒業してからという意識がないのだろうかと思いました。卒業まで迎えた生徒の大半は進学(すべて専門学校)でした。
- 昼休憩(お昼ご飯)時、外出不可でしたが外出許可に変更。本人の気分転換と教職員の業務効率化につなげる。
- 他校に通いながら(アリアーレ昼間生・大学・短大・高校・フラワーさま等提携先専門学校)+アリアーレ通信生に対する通いやすさを実現。授業参加が他校のためできなくても、違うクラス・学年への参加を認める等授業フォロー、欠席フォローを充実させる。限られた時間数だけでなく、どのクラスでも受講できる制度で予習・復習が充実。学習と仕事や他の学びの両立、補習等の経済的負担をなくす。高等教育無償化はどこの学校もやっており、差別化にならない。

- 学校が保護者に求めていることや期待していることは生活の指導。学校は集団で活動を行う場であり、家庭でのしつけが集団生活にそぐわない場合も出てくると学校現場も大変苦慮する。そのため生活指導の原点は家庭であると入学前保護者会で伝える。
(時間・お金)

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

- 令和5年10月入学の通信生から課題提出が郵送からインターネット提出に変更になるのに伴い、学校の通信環境の整備に取り掛かる。名古屋市熱田区の ELIC ビジネス&公務員専門学校を訪問し、ICT教育の第一線を見学する。
- 玄関前等整備に関して議論があり、一部方向性を示したが進展なし。将来の利益につながる設備投資の方向性がない。教育の改善指示もない。
- 在校生の生産性アップに貢献できるようなソリューション開発やICT化は必要。

(7) 学生の受け入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	3

- 令和4年4月、外国人留学生を対象とした新科「トータルプログラム科」の入学者はコロナ禍による入国制限のあおりで6名。
- 理容分野は過去10年間で最多の入学者数(2021年度 全国837名)。ただ母数が少ないため、理容希望全員に接触する意識を持って募集をしている。美容分野も過去10年間で最多の入学者数(2021年度 全国19,414名)。美容は募集が多いので、より多くの高校生への認知度が必要不可欠と考えて活動している。

- 高校 2 年生（R5 年度 高校 3 年生）は大幅減になり、またコロナ禍によって世帯収入が減少し、経済的な理由で進学をあきらめてしまう高校生をなくすため、奨学金の情報は意識して伝えている。
- 学納金に関して、見直しをし授業料と入学金に関しては昼間課程・通信課程とも値上げる（実習費・教材費等はそのまま。通信生は令和 5 年 10 月入学生、昼間生は令和 6 年 4 月入学生から適用）
- 令和 5 年度 4 月入学生（4 年度募集）は理美 W ライセンス希望者が多かった。この路線で行くのか、こちらに頼らないで行くのかどうなのか。4 年大学でもない、2 年の専門学校でもない、高校生の時から始める 3 年間の専門学校等ほかに負けないインパクトが必要なのではないか。
- SNS は学校の魅力を訴える大切なツールではあるが、確実に学校の魅力を伝えるには、学校訪問での高校教員との対話や文書送付、個人情報からの DM も実施している。フェイスブックに関しては愛知県内の理美容学校でもっとも多いフォロワー数に達する。
- 当初予算、予定使途、途中経過、目指す方向性などは、学校をよりよく活性化させるため従業員間にも知らせてほしいし、意見を聞きたいと思う。
- 広告に頼った募集に疑問を感じる。（広告より教育）教育の質こそ、学校ブランドの要であり、選ばれる学校の教育の質とは何かを考える必要がある。厳しい学生募集環境の中で専門学校の教育力が問われている。（前年同様）ただ、質の良い教育をしても、知ってもらわなければ宝の持ち腐れで、そのためには広告媒体も必要。
- 9 月より広報学生委嘱制度をスタート。学生目線をより重視した広報活動を展開できるようにしたが、まだ道半ばの感もたくさん感じる。

（8）財務

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なもとのなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- 財務は安定しているが、長期計画書・中期計画書をきちんと作成し、一般寄付金（特に建物）の説明ができるようにすべき。

(9) 法令等の厳守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 学則等校内ルールを教職員が正しく把握できていない。よって学生に対し、ちぐはぐな対応が見られた。
- 愛知県福祉課による、国の理（美）容師指定規則に基づく運営が届出事項の一部等でなされていない。指定規則に準じた運営ができているかどうか、職員レベルでは、同僚であるが故の甘さがみられ、またリーダーも不在。監査は機能していない。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

- 今年度3件、近隣住民の皆さまや、また遠方からも着物の寄贈を受けることができました。また3年ぶりに今池まつりに参加し、地域交流を深める。
- 大学・専門学校における社会人受入れの推進に関する制度が充実する中で、地域住民の皆さんに学習機会を提供する「公開講座」を開設。通信生を含めた在校生はもちろん、一般市民の方からも受講申し込みがあり、今後も理美容に限らず、バラエティーに富んだ講座の開設に努めていく。（前年同様）
- 昨年度に続き、一般社団法人 愛知県福祉理美容技能 評価認定協会さまに県知事認定の試験会場としてご利用いただく。受験者の方のアリアーレ認知度が広がる。
- 社会に貢献し、人々に喜んでもらえるかどうか問題で利益はそのあと。学校がやるべきことは何なのか。もう一度考える。ここの社会貢献こそ経営理念ではないのか。

(11) 国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 東海地区の日本語学校及び留学生が在籍する専門学校に、毎年美容業界の外国人採用の情報を交えながらパンフレットを郵送している。当校でも専門技術だけでなく日本語のフォローをしているが、もっと資格（日本語能力試験）に合わせた対応を検討している。
- 出入国管理局への書面手続きにまだ慣れていない面がある。特に除籍等をした場合に、どのような経過をたどったのか、学校はそこに至るまでにどのようにアプローチをしたのか、わかるように小まめな記録を残すことをしていく必要がある。